

編集後記

編集後記を書く時に、文の冒頭を季節の御挨拶ではじめたいいつも考える。しかし、編集後記を書く時と、雑誌が皆様の御手許に届く時の間に約1カ月のずれがあり、どちらの季節に合せるかで悩んでしまう。因みに、本7月号の編集後記は5月30日の早朝、嵐のような風雨の音を聞きながら書いている。

さて、本号の梶原氏の巻頭言は大変興味深く読ませて頂いた。リハビリ医学の実践は医師を中心に全ての職種がそろってはじめて満足のいくものとなる、と氏は述べている。その通りなのであるが、現実には医師であれば誰でも良かったり、医師がいなくともリハビリ医学が実践されている。そして、このような風潮が、リハ医の教育養成よりずっと早足で伸びていっていることをどのように変えていったら良いのであろうか。

特集は「職業リハビリテーション」を久し振りに取り上げた。小川氏の明快な基本原則の説明にはじまり、田中、谷口両氏の視覚および聴覚障害者の職業リハについて、現状とその悩みなど教えられる所が多々あった。また、肢体不自由児の重度化、精薄の職業訓練校の福田氏による実績などをみても、障害者

の職業については、残された課題は多い。

今号の研究と報告には、偶然にも金沢大学の論文が2つ並んだ。そのいずれもが、リハビリ医学の問題を先取りしているようなものである。今後一層の発展を望みたい。

また、調査、紹介の欄の佐藤、里宇両氏による2篇も、我々の中々知り得ない情報をリハビリテーションというフィルターを通して教えて頂けたという気がする。両氏の御苦勞を多としたい。

最後に講座は、治療の最近の進歩の第7回目で、「腰痛と坐骨神経痛」である。北大の金田氏によって、その分類から検査法、治療に至るまで大変わかり易く書かれている。このテーマは、整形外科医には勿論であるが、リハ医やリハ関連職種にとっても重要なテーマである。熟読玩味して頂きたいと願うものである。

また、新しい講座「リハビリテーションと心理」が6回連載される。心理は大変重要な問題でありながら、ともすれば等閑視されることも多い。本号の上田氏の論文でリハ医学における位置づけを十分に学んでほしい。

(大川 嗣雄)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一郎
五 味 重 春
砂 原 茂 一
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
岩 倉 博 光
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歆
長 谷 川 恒 雄
初 山 泰 弘
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第14巻 第7号)

発 行 株式会社 医学書院

1986年7月10日発行 (毎月1回10日発行)

代 表 者 椿 孝 雄

1部定価 1,650円 (配送料60円)

(年ぎめ予約購読料 18,480円)
(送料弊社負担)

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 山田・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 685-3131

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1986, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複製・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。